

平成24年度 全国学力・学習状況調査
宮崎県の調査結果
【1 結果の概要】

学校政策課

◆ 調査の目的

- (1) 国が、義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
(2) そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。
(3) 学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。

◆ 調査の概要

- 1 調査実施日 平成24年4月17日(火)
2 対象学年 小学校第6学年、特別支援学校小学部第6学年
中学校第3学年、中等教育学校第3学年、特別支援学校中学部第3学年
3 調査対象 県内の抽出調査の対象となった公立小・中学校、特別支援学校
小学校：105校(4,737人) 中学校：88校(6,445人)
4 抽出率 【宮崎県】 小学校：43.4% 中学校：62.4%
【全国】 小学校：24.8% 中学校：43.2%

※ 国立・私立学校も参加しているが、示しているのは、県内の公立小・中学校特別支援学校の結果のみである。

◆ 宮崎県の公立小・中学校の学力調査結果の概要

1 平均正答数

小学校第6学年

年度	教科 〔問題数〕	国語A 〔17問〕	国語B 〔11問〕	算数A 〔19問〕	算数B 〔13問〕	理科 〔24問〕
H24	宮崎	14.0	6.0	14.1	7.4	14.5
	全国	13.9	6.1	13.9	7.7	14.6
	全国との差	+0.1	-0.1	+0.2	-0.3	-0.1

中学校第3学年

年度	教科 〔問題数〕	国語A 〔32問〕	国語B 〔9問〕	数学A 〔36問〕	数学B 〔15問〕	理科 〔26問〕
H24	宮崎	23.9	5.9	23.2	7.5	13.7
	全国	24.0	5.7	22.4	7.4	13.3
	全国との差	-0.1	+0.2	+0.8	+0.1	+0.4

- A問題：主として「知識」に関する問題
身に付けておかなければ後の学年等の学習内容に影響を及ぼす内容
実生活において不可欠であり常に活用できるようになっていることが望ましい知識・技能
- B問題：主として「活用」に関する問題
知識・技能等を実生活の様々な場面に活用する力などに関わる内容
様々な課題解決のための構想を立て実践し評価・改善する力などに関わる内容

2 平均正答率の推計値及び平均正答率の95%信頼区間

小学校第6学年

(目盛りは誤差の値%)

教科	地域	平均正答率		-3	-2	-1	0	1	2	3
		推計値	95%信頼区間							
国語A	宮崎	82.1	81.6 ~ 82.6							
	全国	81.6	81.4 ~ 81.7							
国語B	宮崎	54.5	53.7 ~ 55.4							
	全国	55.6	55.4 ~ 55.8							
算数A	宮崎	74.3	73.7 ~ 74.9							
	全国	73.3	73.1 ~ 73.5							
算数B	宮崎	56.6	55.8 ~ 57.4							
	全国	58.9	58.7 ~ 59.1							
理科	宮崎	60.4	59.6 ~ 61.3							
	全国	60.9	60.8 ~ 61.1							

※全国の推計値を基準

中学校第3学年

(目盛りは誤差の値%)

教科	地域	平均正答率		-3	-2	-1	0	1	2	3
		推計値	95%信頼区間							
国語A	宮崎	74.8	74.2 ~ 75.5							
	全国	75.1	75.0 ~ 75.2							
国語B	宮崎	65.0	64.4 ~ 65.6							
	全国	63.3	63.2 ~ 63.4							
数学A	宮崎	64.5	63.7 ~ 65.4							
	全国	62.1	62.0 ~ 62.3							
数学B	宮崎	50.0	48.9 ~ 51.0							
	全国	49.3	49.2 ~ 49.5							
理科	宮崎	52.7	51.9 ~ 53.6							
	全国	51.0	50.9 ~ 51.1							

※全国の推計値を基準

調査結果に関する用語説明

- 本調査は平成22年度から抽出調査となり、結果についても、「推計値」や「信頼区間」で表されるようになりました。したがって、各都道府県の教科に関する調査については、誤差±1%となるように標本抽出が行われているため、推計値についても、誤差±1%程度の精度となっていることに留意する必要があります。また、平均正答率の推計値のみをもって、データの分析や比較等を行うことは、不適当であり、平均正答率の95%の信頼区間も参考としながら、分析することが重要となります。
- **平均正答率の推計値**とは、抽出調査から得られた結果そのものではなく、その結果をもとに、本県の児童生徒が全員受けたとした場合の平均を推計した数値のことです。
- **平均正答率の95%信頼区間**とは、本県の児童生徒が全員受けたとした場合に、95%の確率で平均正答率が入ると考えられる区間（範囲）のことです。

◆ 宮崎県の結果の概要

本県の学力の状況を平均正答率の推計値で見ると、小学校は、前回までとほぼ同じ傾向で、国語、算数ともに、知識に関するA問題は、全国平均を若干上回っているが、活用に関するB問題については、全国平均を若干下回っている。理科については、今回、初めての実施であるが、全国平均を若干下回っている。

中学校では、国語の知識に関するA問題が全国平均を若干下回っているものの、他の教科・区分においては、すべて全国平均を若干上回っている。一昨年度（昨年度は東日本大震災により、調査は実施されていない）は、国語の知識に関するA問題と、数学の活用に関するB問題が全国平均を若干下回っていたが、本年度は、数学の活用に関するB問題は、全国平均を若干上回っている。

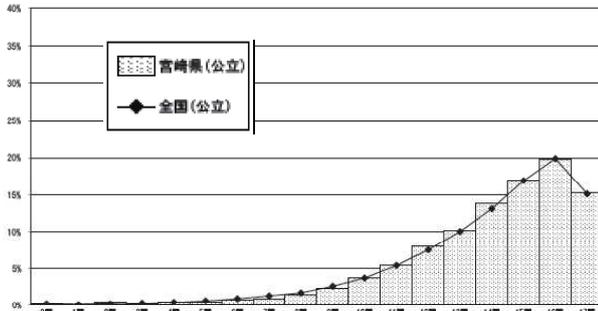
※ 過年度の平均正答率については、「宮崎県教育研修センター」のトップページにある、「調査・研究」の「全国学力・学習状況調査」を参照ください。

平成24年度 全国学力・学習状況調査
宮崎県の調査結果
【2 小学校国語の結果概要】

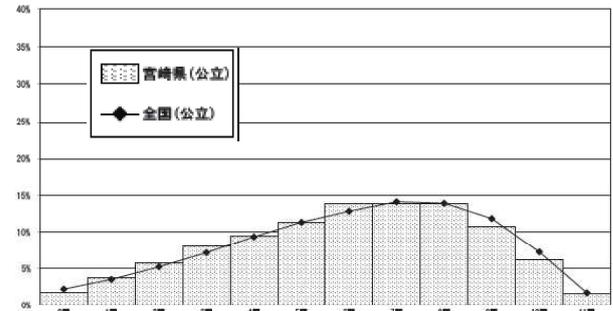
学校政策課

◆ 宮崎県全体の正答数分布状況（公立）

小学校国語A（17問）



小学校国語B（11問）



※ 棒グラフが宮崎県の平均分布状況、折れ線グラフが全国の分布状況 横軸：正答数、縦軸：児童の割合

◆ 学習指導要領の領域・問題形式ごとの平均正答率の推計値

※ 太字が宮崎県の平均正答率の推計値、（ ）の中は、全国の平均正答率の推計値、下段は全国平均との差

領域	国語A	国語B
話すこと・聞くこと	77.5 (79.4) -1.9	62.2 (63.0) -0.8
書くこと	57.1 (57.5) -0.4	47.3 (46.8) +0.5
読むこと	80.3 (82.1) -1.8	53.3 (55.7) -2.4
言語事項	88.4 (86.3) +2.1	55.9 (55.2) +0.7

問題形式	国語A	国語B
選択式	70.6 (72.5) -1.9	58.7 (60.1) -1.4
短答式	85.7 (84.3) +1.4	43.7 (45.0) -1.3
記述式		48.5 (48.5) 0

◆ 小学校国語の設問別結果概要（全国平均との比較）

【話すこと・聞くこと】

- (A) 話し手の話の内容を聞きながら書いた質問について、その狙いを適切に説明したものを
選択する問題
- (A) 収集した情報を関係付けながら話し合い、整理した図の中から共通する内容を取り出し
て書く問題

【書くこと】

- (A) 新聞の報道記事のリードに必要な事柄を整理し、一文にまとめて書く問題
- (B) 手紙の後付けに必要な、日付、署名、宛て名のそれぞれの位置を適切に選択する問題
- (A) 創作した物語の語り手が寄り添っている人物として適切なものを選択する問題

【読むこと】

- (A) 創作した物語の語り手が寄り添っている人物として適切なものを選択する問題
- (B) 編集者の意図を説明したものとして適切なものを選択する問題
- (B) 目的に応じ、複数の記事を結び付けながら読もうとするとき、該当する記事の見出しと
して適切なものを選択する問題

【言語事項】

- (A) 小学校第5学年までに学習した漢字を正しく書く問題
- (A) 日常生活で使われている慣用句を集め、それらの意味を適切に捉える問題
- (A) 学年別漢字配当表に示されている漢字の正しい筆順を適切に捉える問題

- (A) (B) 無解答率が全問題を通じて全国平均より低い。
- (A) 短答式の問題の正答率が、全国平均に対してやや高い傾向が見られる。
- (A) (B) 選択式の問題の正答率が、全国平均に対してやや低い傾向が見られる。

※ ○は全国と比べよくできているもの、●は全国と比べ課題と考えられるもの

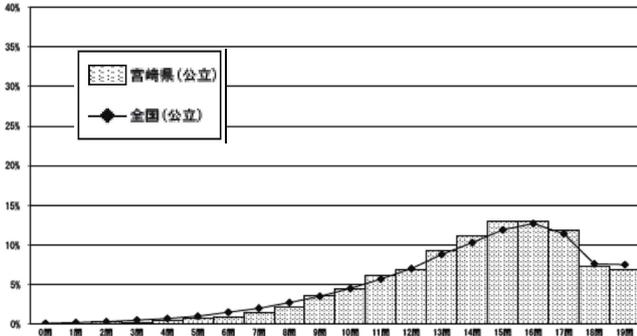
宮崎県の調査結果

【3 小学校算数の結果概要】

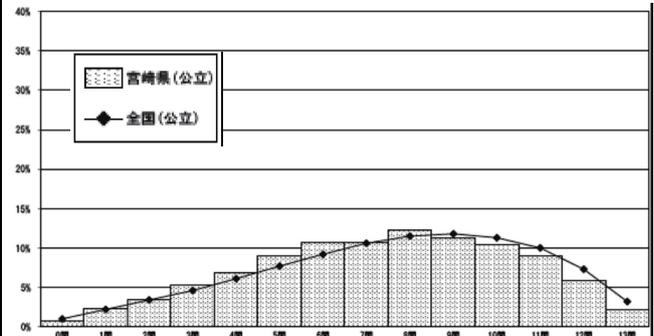
学校政策課

◆ 宮崎県全体の正答数分布状況（公立）

小学校算数A（19問）



小学校算数B（13問）



※ 棒グラフが宮崎県の平均分布状況、折れ線グラフが全国の分布状況 横軸：正答数、縦軸：児童の割合

◆ 学習指導要領の領域・問題形式ごとの平均正答率の推計値

※ 太字が宮崎県の平均正答率の推計値、()の中は、全国の平均正答率の推計値、下段は全国平均との差

領域	算数A	算数B
数と計算	74.9 (75.0) -0.1	51.6 (54.0) -2.4
量と測定	73.0 (71.7) +1.3	59.1 (60.8) -1.7
図形	75.1 (72.6) +2.5	63.2 (63.3) -0.1
数量関係	77.9 (74.4) +3.5	45.4 (49.5) -4.1

問題形式	算数A	算数B
選択式	58.2 (58.5) -0.3	64.8 (68.0) -3.2
短答式	78.6 (77.2) +1.4	75.8 (77.1) -1.3
記述式		32.4 (35.3) -2.9

◆ 小学校算数の設問別結果概要（全国平均との比較）

【数と計算】

- (A) 除数が整数である場合の分数の除法の計算をする問題
- (A) 整数の1/100を小数で書く問題
- (A) 47000は1000が何個集まった数かを書く問題
- (B) 硬貨の種類と枚数を比較し、一方の支払いの方が、おつりの枚数が少なくなる理由を記述する問題

【量と測定】

- (A) 三角形の底辺に対応する高さを選ぶ問題
- (B) 決められた時間までにご飯が出来上がるようにするために、所用時間40分間を基に、ころろに点火する時刻を求める問題
- (B) はかりの目盛りと一人分の材料と分量を基に、班の人数分のご飯を作るために必要な水の重さの求め方と答えを書く問題

【図形】

- (A) 直方体において、与えられた面に垂直な辺を書く問題

【数量関係】

- (A) 加法と乗法の混合した整数の計算をする問題
- (A) 直方体の底面の大きさを変えずに、高さを2、3倍・・・にすると、体積はどのように変わるかを選ぶ問題
- (A) 全体の○○%に当たる人数が出ているとき、全体の人数を求める式と答えを書く問題
- (B) 中型の跳び箱を70cmの高さにすることができるかどうかを判断し、そのわけを書く問題
- (B) 表から比例の関係を捉え、二つの数量の変化の仕方に対応する式を選択する問題
- (B) 示された表から、適切な数値を取り出して割合の大小を判断し、その理由を書く問題

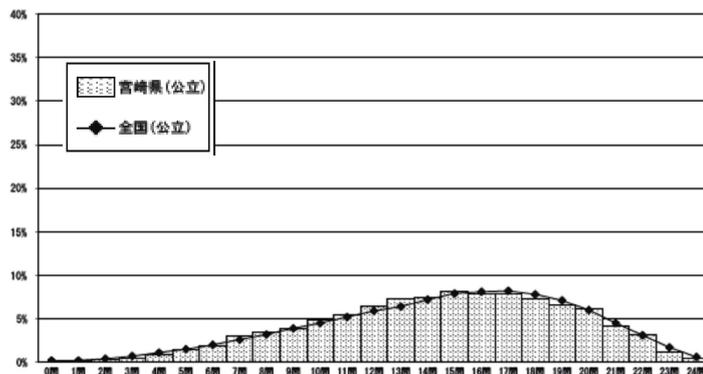
- (A) (B) 無解答率が全問題を通じて全国平均より低い。
- (B) 選択式、短答式、記述式のいずれの問題の正答率も、全国と比べ低い傾向が見られる。

※ ○は全国と比べよくできているもの、●は全国と比べ課題と考えられるもの

平成24年度 全国学力・学習状況調査
宮崎県の調査結果
【4 小学校理科の結果概要】

学校政策課

◆ 宮崎県全体の正答数分布状況（公立）
小学校理科（24問）



※ 棒グラフが宮崎県の平均分布状況、折れ線グラフが全国の分布状況 横軸：正答数、縦軸：児童の割合

◆ 学習指導要領の領域・問題形式ごとの平均正答率の推計値

※ 太字が宮崎県の平均正答率の推計値、()の中は、全国の平均正答率の推計値、下段は全国平均との差

領域	
物質	57.8 (61.4) -3.6
エネルギー	62.7 (59.8) +2.9
生命	68.4 (68.6) -0.2
地球	50.7 (50.6) +0.1

問題形式	
選択式	62.6 (65.0) -2.4
短答式	68.6 (63.9) +4.7
記述式	33.5 (34.5) -1

◆ 小学校理科の設問別結果概要（全国平均との比較）

(知)：主として「知識」に関する問題
(活)：主として「活用」に関する問題

【物質】

- (知) 氷砂糖を細かく割ったときの全体の重さについて当てはまるものを選択する問題
- (活) 氷砂糖を水に溶かしたときの全体の重さについて当てはまるものを選択する問題
- (活) 砂糖水に溶けている氷砂糖の様子について、実験結果から適切な図を選択しそのわけを書く問題
- (活) 梅ジュースに溶けている砂糖の濃さについて、適切に説明しているものを選択する問題

【エネルギー】

- (知) 光電池の特性や乾電池のつなぎ方から当てはまるものを選択する問題
- (活) 電磁石の強さを変えるための実験条件を書く問題
- (活) 車の進行方向と電流の向きとを関係付けて考え、並列つなぎの適切なつなぎ方を選択する問題

【生命】

- (知) 「おしべの花粉がめしべの先につく」ことを表す言葉を書く問題
- (活) サクラの様子について、データを基に、それぞれ当てはまるものを選択する問題
- (活) サクラが開花する地域について、データを基に、それぞれ当てはまるものを選択する問題

【地球】

- (知) 方位磁石の名称を書く問題
- (活) 「かげの観察記録」を基に、木の陰の長さの変化を表したグラフを選択する問題

- 短答式の問題の正答率が、全国と比べ高い傾向が見られる。
- 無解答率が全問題を通じて全国平均より低い。
- 選択式、記述式の問題の正答率が、全国と比べやや低い傾向が見られる。

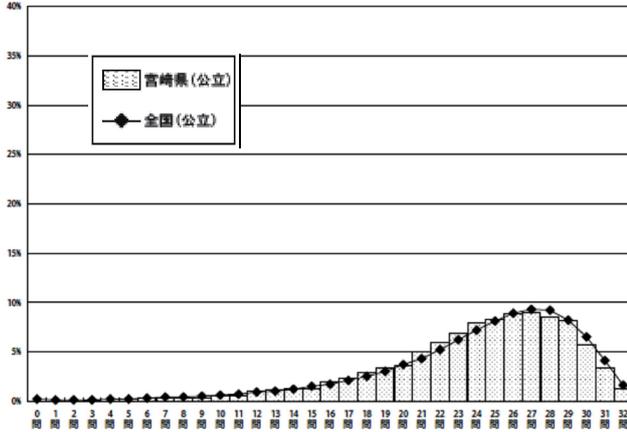
※ ○は全国と比べよくできているもの、●は全国と比べ課題と考えられるもの

平成24年度 全国学力・学習状況調査
宮崎県の調査結果
【5 中学校国語の結果概要】

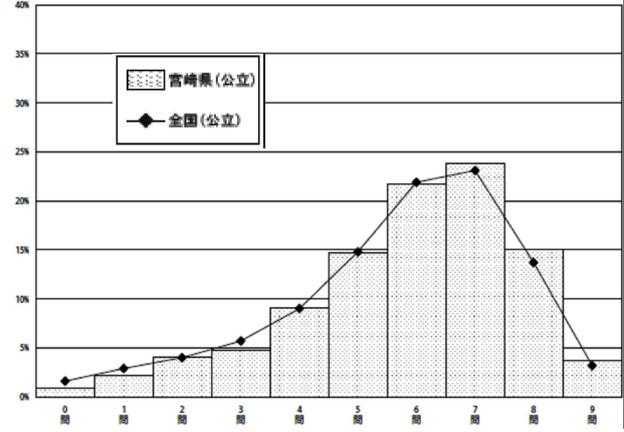
学校政策課

◆ 宮崎県全体の正答数分布状況（公立）

中学校国語A（32問）



中学校国語B（9問）



※ 棒グラフが宮崎県の平均分布状況、折れ線グラフが全国の分布状況 横軸：正答数、縦軸：児童の割合

◆ 学習指導要領の領域・問題形式ごとの平均正答率の推計値

※ 太字が宮崎県の平均正答率の推計値、()の中は、全国の平均正答率の推計値、下段は全国平均との差

領域	国語A	国語B
話すこと	88.7 (87.7)	61.3 (59.9)
聞くこと	+1.0	+1.4
書くこと	88.7 (88.1)	60.2 (57.4)
	+0.6	+2.8
読むこと	64.6 (65.4)	63.5 (61.5)
	-0.8	+2.0
言語事項	73.3 (73.7)	
	-0.4	

問題形式	国語A	国語B
選択式	74.9 (76.1)	68.7 (67.7)
	-1.2	+1.0
短答式	74.8 (74.1)	84.7 (84.3)
	+0.7	+0.4
記述式		52.3 (49.0)
		+3.3

◆ 中学校国語の設問別結果概要（全国平均との比較）

【話すこと・聞くこと】

- (B) これからどのような言葉の使い方をしたいのかを具体的な言葉の例を挙げて書く問題

【書くこと】

- (B) 祖母向けの説明書の一部を書く問題
- (B) 朗読の仕方の工夫とその理由を書く問題

【読むこと】

- (B) 物語に描かれている季節を選択する問題
- (A) 表現の技法の名称を書く問題
- (A) 絵表示の内容に加えて気を付けなければならないこととして適切なものを選択する問題

【言語事項】

- (A) 話し言葉と書き言葉との違いを理解し、場に応じた話し言葉にする問題
- (A) 「諸行むじやう」を漢字で書いたものとして適切なものを選択する問題
- (A) 語句の意味を理解し、文脈の中で適切な語句を選択する問題
- (A) 語句の意味を理解し、適切な対義語を選択する問題
- (A) 漢和辞典の「意味」の中から適切なものを選択する問題

- (A) (B) 無解答率が全問題を通じて全国平均より低い。
- (B) 記述式の問題の正答率が、全国平均に対して高い傾向が見られる。

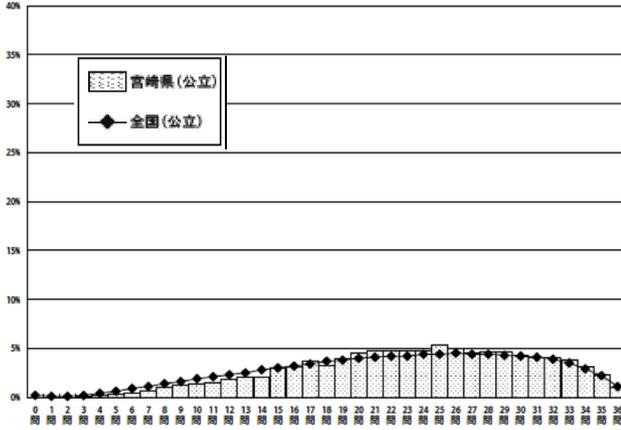
※ ○は全国と比べよくできているもの、●は全国と比べ課題と考えられるもの

平成24年度 全国学力・学習状況調査
宮崎県の調査結果
【6 中学校数学の結果概要】

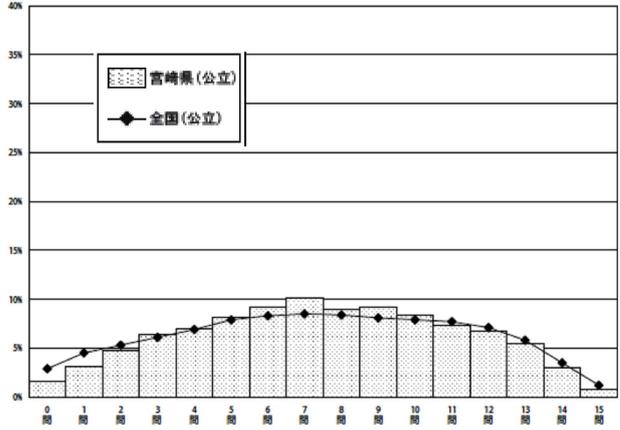
学校政策課

◆ 宮崎県全体の正答数分布状況（公立）

中学校数学A（36問）



中学校数学B（15問）



※ 棒グラフが宮崎県の平均分布状況、折れ線グラフが全国の分布状況 横軸：正答数、縦軸：児童の割合

◆ 学習指導要領の領域・問題形式ごとの平均正答率の推計値

※ 太字が宮崎県の平均正答率の推計値、()の中は、全国の平均正答率の推計値、下段は全国平均との差

領域	数学A	数学B
数と式	71.3 (67.5) +3.8	41.1 (40.9) +0.2
図形	67.5 (66.7) +0.8	59.7 (59.7) 0
数量関係	54.9 (52.1) +2.8	41.7 (39.8) +1.9

問題形式	数学A	数学B
選択式	60.5 (59.7) +0.8	58.0 (58.4) -0.4
短答式	70.2 (65.5) +4.7	66.9 (65.4) +1.5
記述式		34.4 (34.0) +0.4

◆ 中学校数学の設問別結果概要（全国平均との比較）

【数と式】 ※ (A) (B) とともに、ほとんどの問題の正答率が全国平均より高い傾向が見られる

- (A) 2つの自然数の最小公倍数を求める問題
- (A) 指数を含む文字式で文字に数を代入して式の値を求める問題
- (A) 簡単な連立二元一次方程式を解く問題
- (B) 連続する3つの自然数の和が3の倍数になることを説明する問題

【図形】

- (A) 1回転させると円柱ができる平面図形として正しいものを選択する問題
- (A) 正四角錐の体積を求める式として正しいものを選択する問題
- (B) 「木の高さの求め方」から必要な情報を適切に選択し、処理する問題
- (A) 与えられた三角形と合同な三角形を選択する問題
- (B) 異なる場合での垂線の作図で、共通して利用されている図形の性質を選択する問題
- (B) 問題解決の方法を数学的に説明する問題

【数量関係】

- (A) 一次関数を表した事象を選択する問題
- (A) 資料を整理した図から最頻値を読み取る問題
- (A) 二元一次方程式の解を座標とする点について、正しい記述を選択する問題
- (A) 1枚の硬貨を投げる時の確率について正しい記述を選択する問題

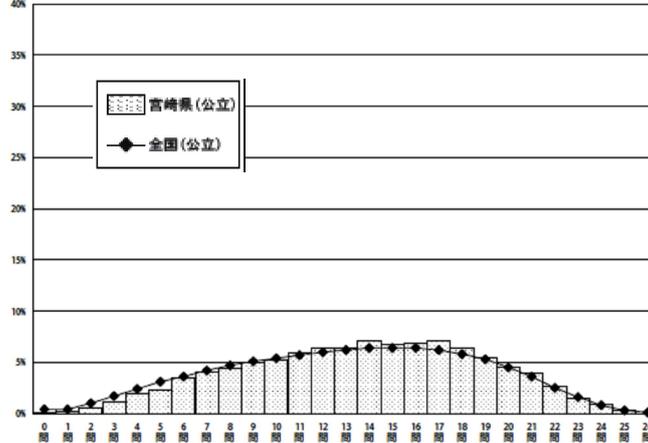
- (A) (B) 無解答率が全問題を通じて全国平均より低い。
- (A) (B) 短答式の問題の正答率が、全国平均と比べやや高い傾向が見られる。

※ ○は全国と比べよくできているもの、●は全国と比べ課題と考えられるもの

平成24年度 全国学力・学習状況調査
宮崎県の調査結果
 【7 中学校理科の結果概要】

学校政策課

◆ 宮崎県全体の正答数分布状況（公立）
 中学校理科（26問）



※ 棒グラフが宮崎県の平均分布状況、折れ線グラフが全国の分布状況 横軸：正答数、縦軸：児童の割合

◆ 学習指導要領の領域・問題形式ごとの平均正答率の推計値

※ 太字が宮崎県の平均正答率の推計値、()の中は、全国の平均正答率の推計値、下段は全国平均との差

領域	
物理的	47.4 (45.9) +1.5
化学的	57.7 (56.9) +0.8
生物的	53.9 (50.7) +3.2
地学的	53.7 (52.0) +1.7

問題形式	
選択式	62.0 (60.3) +1.7
短答式	51.4 (49.0) +2.4
記述式	32.9 (32.1) +0.8

◆ 中学校理科の設問別結果概要（全国平均との比較）

(知)：主として「知識」に関する問題
 (活)：主として「活用」に関する問題

【物理的】

- (活) 2つの実験における豆電球と発光ダイオードの消費する電力から、白熱電球とLED電球の省エネ効果を考察し、LED電球の省エネの効果を答える問題
- (知) 実験結果から食塩水の中で卵にはたらく浮力の大きさを求める式を書き、浮力の大きさを求める問題

【化学的】

- (知) 食塩水のようにすを、食塩の粒子のモデルで表したものを選択する問題
- (活) 実験で、古い卵が浮いたときの気室の位置と、卵のとがっている部分の位置を選択する問題

【生物的】

- (知) 水草の働きや名称と発生する気体の名称を答える問題
- (知) 成長して種子になる部分の名称を選択する問題
- (活) 追実験を計画するに当たって、実験結果の考察から花が開く温度を予想して設定する温度を答える問題

【地学的】

- (知) 「うすい塩酸をかけ、発生する気体を確かめる」という石灰岩を見分ける技能において、そのときに発生する気体の名称を答える問題

-
- 無解答率が全問題を通じて全国平均より低い。
 - 短答式の問題の正答率が、全国平均と比べやや高い傾向が見られる。

※ ○は全国と比べよくできているもの、●は全国と比べ課題と考えられるもの

【小学校国語】

○ 小学校第5学年までに学習した漢字を、正しく書く問題は全国と比べてきている。

A問題

1

二 次の(1)から(3)までの文の漢字で、正しいに書きましよう。 — 部のひらがなを、

- (1) 病院で いしや にみてもらう。
- (2) 東から たいよう がのぼる。
- (3) 白い めの を青くそめる。

■ 正答
 (3)(2)(1) 医者 太陽 布

		正答率	無答率
(1)	宮崎県	87.4%	2.6%
	全国	83.1%	4.2%
(2)	宮崎県	87.0%	0.9%
	全国	82.8%	1.6%
(3)	宮崎県	93.4%	2.2%
	全国	90.5%	4.2%

● 創作した物語の語り手が寄り添っている人物として適切なものを選択する問題は全国と比べ課題がある。

A問題

- 4 広子
- 3 勇二
- 2 先生
- 1 学級全員

【グループでの青木さんの説明】

下書きは、教室の全体の様子をながめながら、そこで起きている事実を中心に書きました。でも、その時の人物の様子がくわしく伝わらないのではないかと考えました。そこで、の立場に寄り添って、細かな動きやその時に感じたことが具体的に分かるように書き直しました。

【下書きをした物語の一部】
 転校生がやって来る日の朝、教室の中は落ち着かなかった。
 ガラガラという教室のドアが開く音がした。そこに学級全員の注目が集まった。先生に続いて、男の子が入ってきた。
 「今日からみんなといっしょに勉強することになった上田勇二さんです。」
 先生のようかいを全員が耳をすまして聞いていた。その中に首をかしげている女の子がいた。
 ↓
 ↓ (物語が続く) ↓

【下書きの書き直しをした物語の一部】
 転校生がやって来る日の朝、広子は落ち着かなかった。
 ガラガラという教室のドアが開く音がした。広子は、身を乗り出して入り口をじっと見た。先生に続いて、男の子が入ってきた。「今日からみんなといっしょに勉強することになった上田勇二さんです。」
 先生のようかいを聞きながら広子は、首をかしげた。初めて会ったはずの勇二とどこかで会ったことがあるような気がした。
 ↓ (物語が続く) ↓

6

青木さんの学級では、一人一人が物語を書いて、発表し合うことになりました。青木さんは、次のように下書きをしたあと、書き直しをしました。そして、書き直しをしたところをグループの人たちに説明しています。「グループでの青木さんの説明」のの中に入る言葉として最もふさわしいものを、あとの1から4までの中から一つ選んで、その番号を書きましよう。

■ 正答
 選択肢 4 広子

	正答率	無答率
宮崎県	67.4%	0.8%
全国	71.8%	1.4%

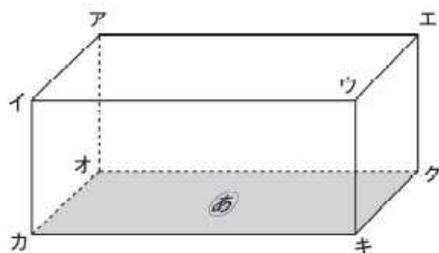
【小学校算数】

○ 直方体において、与えられた面に垂直な辺を書く問題は全国と比べできている。

A問題

6

(2) 下の直方体には、面 **あ** に垂直な辺がいくつかあります。
面 **あ** に垂直な辺を1つ選んで、書きましょう。



■正答 (辺) アオ, (辺) イカ, (辺) ウキ, (辺) エクのいずれか一つを解答しているもの。

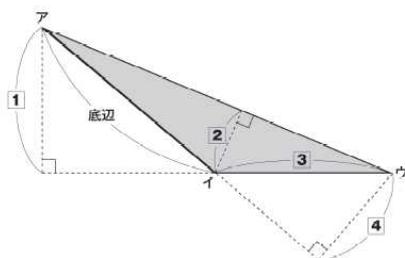
	正答率	無答率
宮崎県	71.3%	1.4%
全国	64.8%	2.7%

● 三角形の底辺に対応する高さを選ぶ問題は全国と比べ課題がある。

A問題

5

(2) 下の三角形アイウの面積の求め方を考えます。
辺アイを底辺とすると、高さはどの長さになりますか。
次の ① から ④ までの中から1つ選んで、その番号を書きましょう。



	正答率	無答率
宮崎県	49.9%	0.7%
全国	54.6%	1.2%

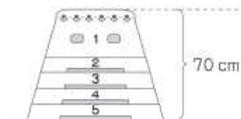
● 中型の跳び箱を70cmの高さにすることができるかどうかを判断し、そのわけを書く問題は全国と比べ課題がある。

B問題

2

(2) ゆかりさんたちは先生から、小型と中型のとび箱を、同じ高さにして準備するようにたのまれました。
まず、みんながよく練習している小型のとび箱を5段にしました。
そのときの高さは70cmでした。

小型のとび箱 (5段)



次に、中型のとび箱を小型のとび箱と同じ70cmの高さにしようと思います。
中型のとび箱を70cmの高さにすることはできますか。
下の ① と ② から正しいほうを選んで、その番号を書きましょう。また、その番号を選んだわけを、言葉や数を使って書きましょう。

- ① 小型のとび箱を70cmの高さにすることはできる。
- ② 中型のとび箱を70cmの高さにすることはできない。

■正答

【番号】 2

(例1) 中型の跳び箱でできる高さを示して説明する (解法A)

【わけ】 中型のとび箱を3段にすると、高さは65cmです。次は15cm高くなるので、4段にすると、高さは80cmになります。だから、中型のとび箱を70cmの高さにすることはできません。

(例2) 70cmと中型の跳び箱との差を示して説明する (解法B)

【わけ】 中型のとび箱を3段にすると、高さは65cmです。70cmから中型のとび箱3段までの高さをひくと、 $70-65=5$ になり、5cmあまりです。中型のとび箱で5cmの高さの段はありません。だから、中型のとび箱を70cmの高さにすることはできません。

	正答率	無答率
宮崎県	22.4%	0.9%
全国	26.8%	1.3%

- はかりの目盛りと一人分の材料と分量を基に、班の人数分のご飯を作るために必要な水の重さの求め方と答えを書く問題は全国と比べ課題がある。

B問題

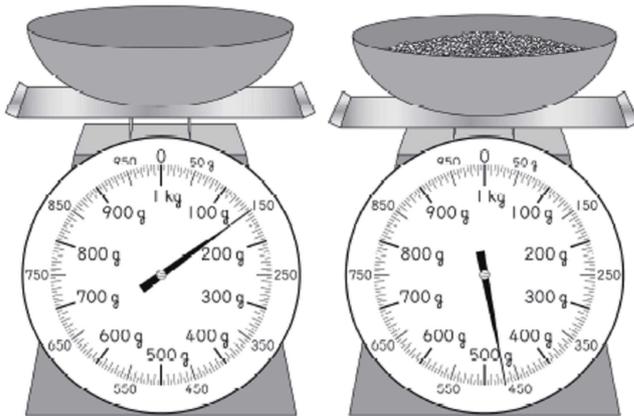
4

(3) 調理実習の時間になりました。ごはんを作るとき一人分の材料と分量は次のとおりです。

1人分の材料と分量	
米	80g
水	120g
(水は米の重さの1.5倍です。)	

ひろしさんは、班で使う米の重さをはかります。

最初に容器だけをはかりにのせたら、はかりの目もりは図Aになりました。次に米を入れると、はかりの目もりは図Iになりました。



図A

図I

ひろしさんの班がごはんを作るのに必要な水の重さは、何gになりますか。求め方を式や言葉で書きましょう。また、答えも書きましょう。

■正答

(例1) 「水は米の重さの1.5倍です」を使って説明する (解法A)

【求め方】 容器に米を入れた重さは470gで、容器の重さは150gだから、 $470-150=320$ で、米の重さは320gになります。水の重さは米の重さの1.5倍なので、 $320 \times 1.5=480$ で、水の重さは480gになります。

【答え】 480 (g)

(例2) 1人分の水の重さ120gを使って説明する (解法B)

【求め方】 容器に米を入れた重さは470gで、容器の重さは150gだから、 $470-150=320$ で、米の重さは320gになります。1人分の米の重さは80gなので、 $320 \div 80=4$ で、班の人数は4人になります。1人分の水の重さは120gだから、 $120 \times 4=480$ で、水の重さは480gになります。

【答え】 480 (g)

	正答率	無答率
宮崎県	28.5%	9.4%
全国	32.8%	10.9%

- 表から比例の関係を捉え、二つの数量の変化の仕方に対応する式を選択する問題は全国と比べ課題がある。

B問題

5

(2) あやかさんは、タイヤを1回転させるごとに、一輪車がどのくらい進むかを知りたいと思い、一輪車のタイヤの回転数と進んだ長さを調べて、下の表にまとめました。

一輪車のタイヤの回転数と進んだ長さ

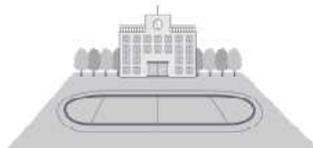
タイヤの回転数 (回転)	1	2	3	4
進んだ長さ (cm)	157	314	471	628

あやかさんは、この表を見て、進んだ長さはタイヤの回転数に比例することに気づきました。このことを使って、一輪車で運動場のトラック1周の長さを求めることにしました。

トラックを1周すると、タイヤはちょうど120回転しました。

トラック1周の長さを求める式を、次の1から4までの中から1つ選んで、その番号を書きましょう。

- 1 157×120
- 2 314×120
- 3 120×3.14
- 4 157×3.14



■正答 1

	正答率	無答率
宮崎県	52.1%	5.1%
全国	60.9%	5.8%

【小学校理科】

○ 「おしべの花粉がめしべの先につく」ことを表す言葉を書く問題は全国と比べできている。

知識

(4) 太郎さんは、サクラの実のでき方に興味をもち、本で調べると、下のよう
な説明がのっていました。

2



■ 正答 受粉

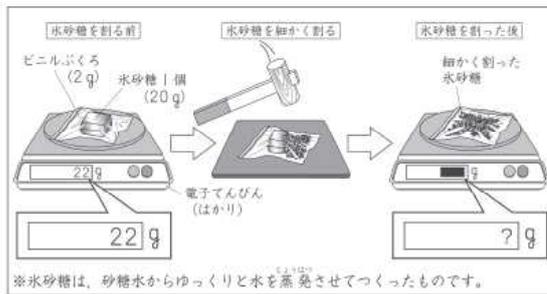
	正答率	無答率
宮崎県	86.6%	5.3%
全国	77.2%	10.2%

「おしべの花粉がめしべの先につく」ことを表す言葉を書きましょう。

● 氷砂糖を細かく割ったときの全体の重さについて当てはまるものを選択する問題と氷砂糖を
水に溶かしたときの全体の重さについて当てはまるものを選択する問題は全国と比べ課題がある。

1

(1) 下の図のように、氷砂糖1個とビニルぶくろの重さをはかると、22g
でした。次に、水にとがしやすくするため、氷砂糖をビニルぶくろに入れ
て細かく割りました。そして、もう一度全体の重さをはかりました。



氷砂糖を細かく割った後の全体の重さは、(ア)。

よしさんの言葉の(ア)の中に当てはまるものを、下の1から
4までの中から1つ選んで、その番号を書きましょう。

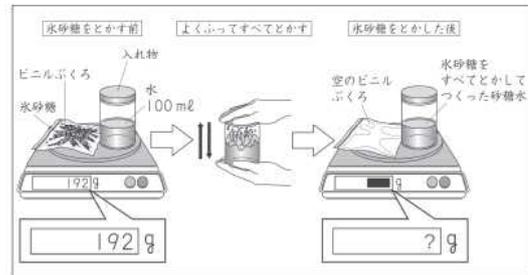
- 1 22gより軽くなっていました
- 2 22gと変わっていませんでした
- 3 22gより重くなっていました
- 4 ビニルぶくろの重さだけになっていました

知識

■ 正答 2

	正答率	無答率
宮崎県	79.0%	0.2%
全国	85.8%	0.3%

(2) 下の図のように、(1)で細かく割った氷砂糖と水100mℓの入った入れ
物の重さをはかると、192gでした。次に、細かく割った氷砂糖を水に
入れて、よくふってすべてとがしました。そして、もう一度全体の重さ
をはかりました。



氷砂糖をとがした後の全体の重さは、(イ)。

よしさんの言葉の(イ)の中に当てはまるものを、下の1から
4までの中から1つ選んで、その番号を書きましょう。

- 1 192gより軽くなっていました
- 2 192gと変わっていませんでした
- 3 192gより重くなっていました
- 4 ビニルぶくろと入れ物と水100mℓの重さだけになっていました

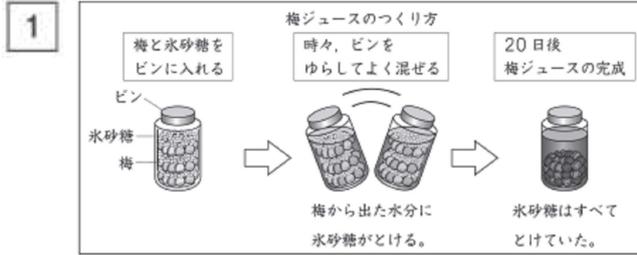
活用

■ 正答 2

	正答率	無答率
宮崎県	66.1%	0.3%
全国	76.3%	0.4%

● 梅ジュースに溶けている砂糖の濃さについて、適切に説明しているものを選択する問題は全国と比べ課題がある。

活用 (4) よし子さんは、氷砂糖を使って梅ジュースをつくりました。



よし子さんは、完成した梅ジュースの上の方をすくい、味見をします。梅ジュースにとけている砂糖のこさを、説明しているものはどれですか。下の 1 から 4 までの中から 1 つ選んで、その番号を書きましょう。

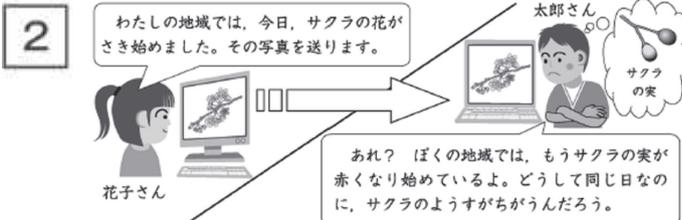
- 1 上の方の砂糖のこさは、下の方よりもうすい。
- 2 上の方の砂糖のこさは、下の方よりもこい。
- 3 上の方の砂糖のこさは、下の方と同じ。
- 4 上の方は、砂糖がとけていない。

■正答 3

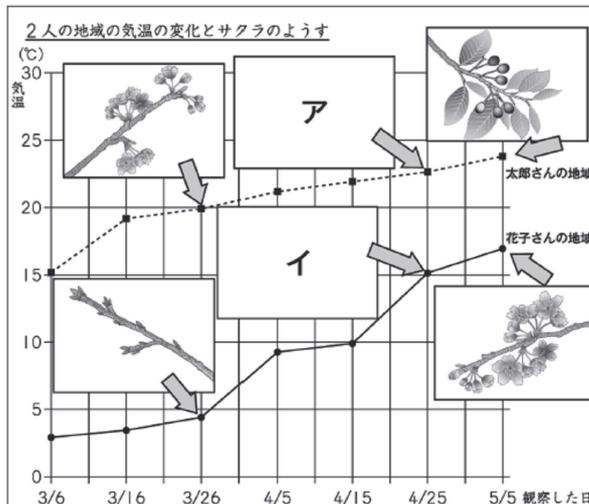
	正答率	無答率
宮崎県	60.7%	0.2%
全国	65.6%	0.6%

● サクラの様子について、データを基に、それぞれ当てはまるものを選択する問題は全国と比べ課題がある。

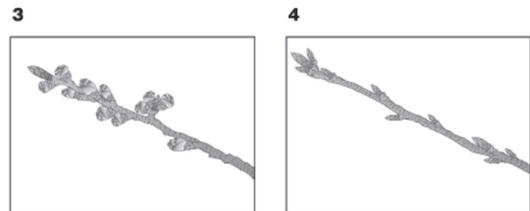
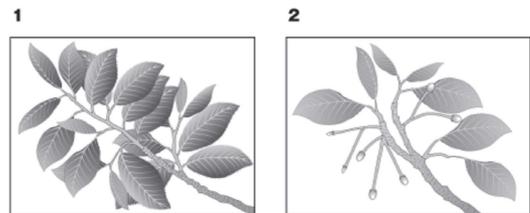
活用 (2) 花子さんは、サクラのようすを写真にとり、太郎さんに送りました。



2人は、サクラのようすのちがいは気温に関係があると考え、これまでの観察記録をもとに、下の図のようにまとめました。



2人がまとめた図の中の「ア」・「イ」に当てはまるサクラのようすの写真を、下の 1 から 4 までの中からそれぞれ 1 つ選んで、その番号を書きましょう。



■正答 (ア 太郎さんの地域のサクラのようす) 2

	正答率	無答率
宮崎県	68.1%	0.4%
全国	73.0%	0.8%

● 語句の意味を理解し、文脈の中で適切なものを選択する問題と語句の意味を理解し、適切な対義語を選択する問題は全国と比べ課題がある。

A問題

- 4 理想
3 目標
2 回想
1 理論

正答は、
選択肢 4

イ 現実には様々な困難があるが、() に向かって努力したい。

四 次のアとイの文の()には、――線部の語句の対義語が入ります。あとの1から4までのうち、最も適切なものをそれぞれ一つずつ選びなさい。

正答は、
3 たなびく

三 次のアからオの文では、()の中の1から4までのうち、どれが最も適切ですか。それぞれ一つずつ選びなさい。
エ (1) たてこもる (2) たちならぶ (3) たなびく (4) たたずむ 雲の間から、春の光がもれている。

7

	正答率	無答率
宮崎県	61.8%	0.5%
全 国	66.3%	0.8%

	正答率	無答率
宮崎県	41.9%	0.4%
全 国	46.9%	0.8%

【中学校数学】

○ 2つの自然数の最小公倍数を求める問題は全国と比べできている。

A問題

1 (1) 8と12の最小公倍数を求めなさい。 ■正答 24

	正答率	無答率
宮崎県	74.0%	1.3%
全 国	67.7%	2.6%

○ 指数を含む文字式で文字に数を代入して式の値を求める問題は全国と比べできている。

A問題

2 (2) $x = 3$ のとき、式 $-x^2$ の値を求めなさい。 ■正答 -9

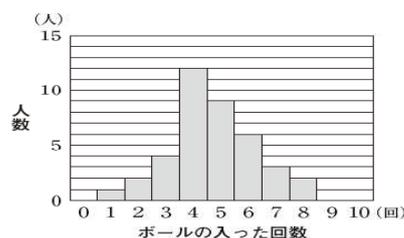
	正答率	無答率
宮崎県	76.7%	2.9%
全 国	66.3%	6.0%

○ 資料を整理した図から最終値を読み取る問題は全国と比べできている。

A問題

15

(2) ある中学校のバスケットボール部の生徒が、フリースローを10回ずつ行いました。下の図は、ボールのに入った回数と人数の関係を表したものです。ボールのに入った回数の最頻値を求めなさい。



■正答 4

	正答率	無答率
宮崎県	55.0%	8.9%
全 国	42.4%	16.9%

● 1枚の硬貨を投げるときの確率について正しい記述を選択する問題は全国と比べ課題がある。

A問題 (1) 表と裏の出方が同様に確からしい硬貨があります。この硬貨を続けて投げたところ、はじめから3回続けて表が出ました。さらにもう1回投げて、4回目の表と裏の出方を調べます。4回目の表と裏の出る確率について、下のアからエまでのの中から正しいものを1つ選びなさい。

14

■正答 ウ

- ア 表の出る確率の方が裏の出る確率よりも大きい。
- イ 表の出る確率の方が裏の出る確率よりも小さい。
- ウ 表の出る確率と裏の出る確率は等しい。
- エ 表の出る確率と裏の出る確率の大小は決まらない。

	正答率	無答率
宮崎県	56.4%	0.9%
全国	64.6%	1.6%

【中学校理科】

○ 成長して種子になる部分の名称を選択する問題は全国と比べできている。

知識

ポスター2 次は、真菜さんの1つ目のポスターです。

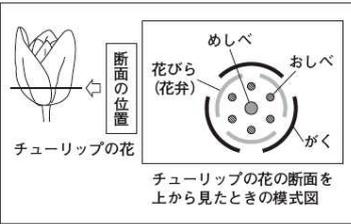
1

チューリップに種子はできるのだろうか

チューリップは、球根から育てるので種子ができないと思っていた。でも、品種を改良する際は、人の手で受粉させて種子をつくっている。
チューリップのように花を咲かせる植物は、Xが成長して種子になる。

チューリップの花にがくはあるのだろうか

チューリップの花は、花びら(花弁)が6枚で、がくはないように見える。しかし、外側の3枚はがくだったものが花びらのような形と色に変化したものだと考えられている。
チューリップの花のつくりを表す模式図が、インターネットで紹介されていた(図3)。このように模式図で表すと、花の基本的なつくりがよくわかる。



チューリップの花の断面を上から見たときの模式図

図3

■正答 ウ

(3) 上のポスターのXに入る正しいものを、下のアからエまでのの中から1つ選びなさい。

- ア ちゅうとう 柱頭
- イ じしやう 子房
- ウ たいしゆ 胚珠
- エ やく

	正答率	無答率
宮崎県	81.1%	0.1%
全国	70.9%	0.4%

○ 「うすい塩酸をかけ、発生する気体を確かめる」という石灰岩を見分ける技能において、そのとき発生する気体の名称を答える問題は全国と比べできている。

知識

観察5 次は、露頭cを観察したときの先生と賢さんの会話です。

3

賢さん

石灰石にうすい塩酸をかけるとFが発生することから、確かめられます。



サンゴの化石を含む石灰石

先生

この露頭には、サンゴの化石を含む石灰岩の地層があります。これは、その地層からとれた石灰石です。石灰石であることを確かめるにはどうしたらよいですか。

そうですね。地層からは過去のいろいろなことがわかります。今後も地層に関心をもって調べてください。

■正答 二酸化炭素

(6) 上の賢さんの話のFに当てはまる気体を何といいますか。その名称を書きなさい。

	正答率	無答率
宮崎県	79.0%	5.8%
全国	73.4%	10.2%

● 実験で、古い卵が浮いたときの気室の位置と、卵のとがっている部分の位置を選択する問題は全国と比べ課題がある。

活用

4

実験 1

和宏：姉さんが用意してくれた食塩水に卵を入れてみると、浮くものがあるよ。浮いた卵が古くて、沈んだ卵が新しいということだね（図1）。浮いた卵のとがっている部分が下になるのはなぜだろう。

望：卵の構造に秘密がありそうね。

和宏：そうだね。卵の構造はどうなっているのかな。調べてみるよ。

和宏：図鑑にあったので写してきたよ（図2）。

望：この図で、卵のとがっている部分は右と左のどちらからしら。

和宏：あれ、どっちだったかな。「気室」には気体が入っているから、その部分は軽いんだよね。そうか…わかったよ。

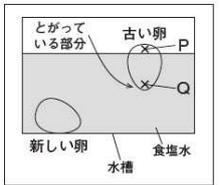


図1

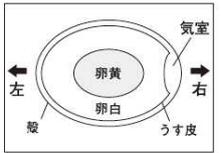


図2

(2) 図1で古い卵が浮いたときの気室の位置と、図2で卵のとがっている部分の位置について、正しいものを、それぞれ下のア、イから1つ選びなさい。

図1で古い卵が浮いたときの気室の位置	ア Pの位置	イ Qの位置
図2で卵のとがっている部分の位置	ア 右側の位置	イ 左側の位置

■正答（完全解答）

「図1で古い卵が浮いたときの気室の位置」：ア

「図2で卵のとがっている部分の位置」：イ

	正答率	無答率
宮崎県	59.3%	0.9%
全国	61.4%	1.8%

● 追実験を計画するに当たって、実験結果の考察から花が開く温度を予想して設定する温度を答える問題は全国と比べ課題がある。

活用

ポスター 3 次は、真菜さんの2つ目のポスターです。

1

チューリップの花が開くのは何に関係しているのだろうか

【動機】
チューリップの切り花を花瓶に生けて窓際に飾ったところ、図5のように、花は13時には開いていて、21時には閉じていた。疑問に思い、表1のように整理した。13時と21時の違いは、日光と室温であったので、「チューリップの花が開くには、光や温度が関係する」と予想して調べることにした。

【方法】
花が閉じているチューリップを生けた4つの花瓶AからDを用意する。光と温度の条件を変え、それ以外の条件は同じにし、しばらく時間をおいた後に、花の状態を観察する。

【結果】
実験の結果を表2にまとめた。

【考察】
チューリップの花が開くには、光の条件を変えた Y とDの結果の比較から、光は関係していないと考えられる。また、Aと Z の結果の比較から、温度が関係していると考えられる。

【感想】
今度は何℃でチューリップの花が開きはじめるかを調べたい。

13時

21時

図5

時刻	花の状態	日光	室温(℃)
13時	開いていた	当たる	20
21時	閉じていた	当たらない	10

花瓶	光	温度(℃)	花の状態
A	当てる	10	閉じたまま
B	当てない	10	閉じたまま
C	当てる	20	開いた
D	当てない	20	開いた

(6) 【感想】の下線部を調べるために、4つの温度を設定し実験を行うとするならば、それぞれ何℃に設定するとよいですか。設定する温度を低い方から順に整数で書きなさい。

■正答

「12, 14, 16, 18」

ほかに正答 (○) 例がある。

	正答率	無答率
宮崎県	31.3%	5.6%
全国	33.9%	8.3%

◆ 宮崎県が全国平均を上回る主な質問について

児童質問紙について本県と全国の状況を比較し、肯定的な回答（「当てはまる」、「どちらかといえば当てはまる」）をした児童の割合が、全国平均を上回る主な質問を示してあります。

【小学校】

質問番号	分類	内容	宮崎	全国	全国との差
7	生活面	早起きである（午前6時30分より前）	58.3	38.9	19.4
11		普通の日の1日当たりの、テレビゲームの時間（1時間以下）	60.5	52.6	7.9
14	学習面	学校の授業時間以外に、普段（月～金曜日）、1日あたり2時間以上勉強をする	35.2	25.6	9.6
16		学習塾（家庭教師を含む）に通っていない	64.4	52.4	12.0
18		本を読んだり、借りたりするために、学校図書館・室や地域の図書館へ週1回以上行く	25.6	17.8	7.8
23		家で自分で計画を立てて勉強をしている	66.2	58.0	8.2
25		家で学校の授業の予習をしている	53.2	40.5	12.7
26		家で学校の復習をしている	78.8	50.2	28.6
56		算数の勉強は好き	74.4	64.9	9.5
60		算数の問題の解き方が分からないときは、あきらめずにいろいろな方法を考える	84.5	79.1	5.4
61		算数の授業で学習したことを普段の生活の中で活用できないか考える	74.3	66.1	8.2
67		理科の勉強は好き	88.5	81.5	7.0
72		理科の授業で学習したことを普段の生活の中で活用できないか考える	71.0	61.9	9.1
75		理科の授業で、自分の考えをまわりの人に説明したり発表したりしている	55.8	46.7	9.1
77		理科の授業で、自分の予想をもとに観察や実験の計画を立てている	77.8	70.1	7.7
79		理科の授業で、観察や実験の進め方や考え方がまちがっていないかをふり返って考えている	75.0	65.2	9.8
5	意識・経路	自分には、よいところがあると思う	82.5	76.8	5.7
29	今住んでいる地域の行事に参加している	70.4	63.2	7.2	

◆ 児童質問紙の結果概要（全国平均との比較）

- 全体的にどの質問に対しても肯定的に答えている児童の割合が高い。
- 3教科ともに、その教科が「好き」と回答している児童の割合が高い。
- 学習したことを「普段の生活の中で活用できないか考える」児童の割合が高い。
- 理科の学習で問題解決的な学習が身につくつつある児童の割合が高い。
- 3教科のうち、算数や理科について肯定的な回答をしている児童の割合が高い。
- 学校図書館・室や地域の図書館の利用は全国と比較すると割合は高くなっているが、今後も引き続き指導の必要がある。
- 原稿用紙2～3枚の感想文や説明文を書くことは難しいと回答している児童の割合は、全国と比較して高い傾向がある。

平成24年度 全国学力・学習状況調査

宮崎県の調査結果

【11 生徒の学習状況の概要】

学校政策課

◆ 宮崎県が全国平均を上回る主な質問について

生徒質問紙について本県と全国の状況を比較し、肯定的な回答（「当てはまる」、「どちらかといえば当てはまる」）をした生徒の割合が、全国平均を上回る主な質問を示してあります。

【中学校】

質問番号	分類	内容	宮崎	全国	全国との差
7	生活面	早起きである（午前6時30分より前）	52.3	37.5	14.8
11		普通の日々の1日当たりの、テレビゲームの時間（1時間以下）	66.8	58.7	8.1
13		携帯電話をもっていない	54.8	38.5	16.3
34		近所の人にあつたときは、あいさつをしている	94.0	87.3	6.7
14	学習面	学校の授業時間以外に、普段（月～金曜日）、1日あたり2時間以上勉強をする	43.7	35.3	8.4
23		家で自分で計画を立てて勉強をしている	49.9	42.9	7.0
24		家で学校の宿題をしている	95.3	85.7	9.6
26		家で学校の復習をしている	75.2	45.5	29.7
39		「総合的な学習の時間」の授業で学習したことは、普段の生活や社会に出たときに役に立つと思う	81.6	73.4	8.2
42		普段の授業では、生徒の間で話し合う活動をよく行っている	67.9	60.9	7.0
55		解答を文章で書く国語の問題について、最後まで解答を書こうと努力している	79.4	70.6	8.8
60		数学の問題の解き方が分からないときは、あきらめずにいろいろな方法を考える	71.7	66.0	5.7
62		数学の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思う	79.6	71.8	7.8
76		理科で観察や実験を行うことは好きだ	85.2	76.0	9.2
77	理科の授業で、自分の予想をもとに観察や実験の計画を立てている	54.7	46.4	8.3	
78	理科の授業で、観察や実験の結果をもとに考察している	62.8	56.5	6.3	
5	意識・経馬	自分には、よいところがあると思う	73.4	68.2	5.2
6		将来の夢や目標を持っている	78.1	73.2	4.9
31		年上や年下の友達と一緒に遊んだり、勉強したりすることがある	48.8	43.5	5.3

◆ 生徒質問紙の結果概要（全国平均との比較）

- 全体的にどの質問に対しても肯定的に答えている生徒の割合が高い
- 「早起きである」と肯定的に回答している生徒の割合が高い。
- 「携帯電話をもっていない」生徒の割合が高い。
- 3教科ともに、その教科が「好き」と回答している生徒の割合が高い。
- 3教科のうち、数学や理科について肯定的な回答をしている生徒の割合が高い。
- 普段の授業で、本やインターネットを使って、グループで調べる活動をよく行っていると感じている生徒の割合が低い。
- 「国語B」、「数学B」の「解答時間」について「足りない」と回答している生徒の割合が高い。
- 「家で学校の復習をしている」と肯定的に回答している生徒の割合は、全国と比較して高い傾向が見られるが、「家で学校の予習をしている」と肯定的な回答をしている生徒の割合は低い傾向が見られた。